

医学協会の
確かな安心

vol.31

私たち情報システム課のメンバーは、
セキュリティ対策、システム開発、運用と保守の
3つの業務に対し、顧客満足度向上を目指し、
鋭意、日々実践しております♥♥

Trim誌 初登場!!!

システムエンジニア、スタッフ10名が集合

医学協会の
情報セキュリティの要
開設29年目を迎える
「情報システム課」

情報システム課が担う、 サイバー攻撃を迎え撃つ セキュリティ対策について

情報システム課
部長代理 椎谷 哲也



医学協会の
セキュリティ対策については
私、椎谷が説明いたします。

◆サイバー攻撃への対処は 万全を基しています

情報システム課では、高度化・巧妙化するサイバー攻撃に対処するために、インターネット、電子メール、USBメモリー等の電子媒体を経由し侵入してくる脅威（ランサムウェア、標的型攻撃・迷惑・詐欺メール等）に対して、幾重もの対策機構により、感染や拡散を未然に防いでいます。

また、より一層の安全を確保するため、サイバー攻撃に関するさまざまな情報を収集し、知識を蓄え、医学協会の業務システムが安全・安定して運用が行えるよう、対策機構の監視・点検作業を途絶えることなく行っています。

◆コンピューターウイルスが検出されたら完全に駆除します

万一、医学協会内の電算機器からコンピューターウイルスが検出された場合の対処は徹底して行います。

ウイルス対策システムにより物理削除するだけでなく、システム関係者に通知する仕組みにより速やかに使用者に連絡し、パソコン内のシステム記録を確認する等により、侵入経路を把握し原因を分析し、根源を絶つことで確実な安全が確保できるまで、徹底して対処を実施することを行っています。

◆リスクの分析は継続的な確認と見直しを徹底しています

情報システム課では、ブロックしたメール（ウイルスメール、迷惑メール、怪しい送信者からのメール等）の数量や経路、ネットワーク通信量等について、情報の流出がないか継続的に確認を行っています。

また、同時にリスクの分析を行うことで対策機構が有効であり続けるよう、見直しを継続しています。

サイバー セキュリティから 医学協会の情報を 守ります！



◆電子記録媒体からの漏洩対策として適切な処理を行います

セキュリティ対策の一環として利用を終えたパソコンから情報漏えいが発生しないよう、パソコンの廃棄時は専用破壊装置を用いて物理的にハードディスクに穴をあけるなど、徹底した処理を行っています。

◆お客様の情報セキュリティを第一に守り続けます

最後に、以上の作業はほんの一例ですが、セキュリティ対策は表立った業務ではありませんが責任重大な業務となります。

お客様に喜んでいただける健診機関であるよう、また、当会職員が安心して医学協会の電算システム環境を運用し続けられるよう、情報セキュリティ基盤の強化を続けて行きます。

医学協会のお客様が満足し、評価していただけるシステム開発について

情報システム課
課長補佐 古川 和伸



医学協会内には、目的に応じて多くの電算システムが存在していますが、社内のシステムエンジニアとして、これら電算システムの開発・保守業務を担当しています。

◆医学協会の業務を広範囲にカバーする「基幹システム」を構築しました

「基幹システム」は、お客様へのさらなるサービス向上や、業務効率化などを目標に掲げ、職員一丸となって取り組み構築したシステムです。このシステムは、お客様との契約情報や、受診される方の個別の予約管理、健康診断の実施、血液等の検体処理、健康診断の結果をお知らせするための用紙の作成、請求処理などの業務全般を、一気通貫の流れで処理することが可能となり、情報・データも一元管理されるようになりました。

基幹システム

お客様との契約情報や、受診者個別の予約管理、健康診断の実施、血液等の検体処理、健康診断の結果をお知らせするための用紙の作成、請求処理等の「健康診断」業務全般を一元管理するためのシステム

当会の「基幹システム」のログイン画面は、新潟ウェルネスの建物や検診車を背景に使用しています。

システム開発の目的

- ・ 国の制度、法律が変わった
- ・ お客様からの要望で、独自の健康診断の実施や、専用の用紙を求められた
- ・ 各部署で使用している機能を改良することで、業務の効率化をはかりたい

など

この「基幹システム」は、医学協会内のほぼ全ての部署で使用していることもあり、様々な目的で、新しい機能の追加、改修などの「システム開発」要件が多数発生します。

たとえば、お客様へより良いサービスを提供するため、定期的に見直しや改善を図った結果、「基幹システム」から出力できる各種帳票や、健診結果データなどの種類は、現在1,000種類を超えるものになっています。

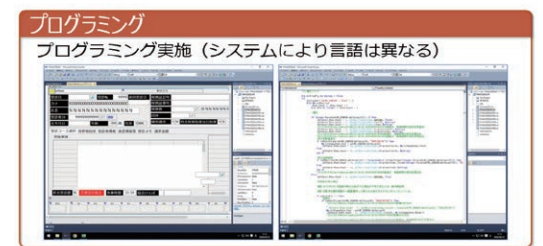
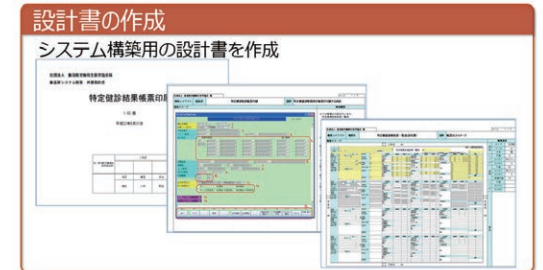
◆「システム開発」を通じてお客様にご満足いただけるようにサポートしています

「システム開発」とひとこと言っても、要件の分析、設計、製造（プログラミング）、テスト作業等、多くの時間を要します。また、要件、要望を理解しないと、使いづらい、意図したものが作成できないシステムになってしまいますので、内部、外部の関係者とコミュニケーションをはかり、協力しながら作り上げていく必要があります。

要件によっては1年以上かけてシステム構築を行うものもあれば、数時間で修正が完了してしまうもの等々ありますが、少人数のシステム関係者でこれらをカバーしているため、ひとりで多くの案件を同時進行でかかえることになり、スケジュール管理や、作業・頭の切り替えに大変苦労しています。

ただ、苦労している分、ひとつひとつ要件を完了させ、依頼者やお客様から好評のお話をいただくと、大きな達成感を感じることができます。

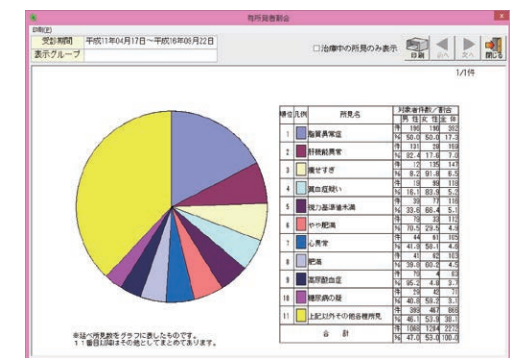
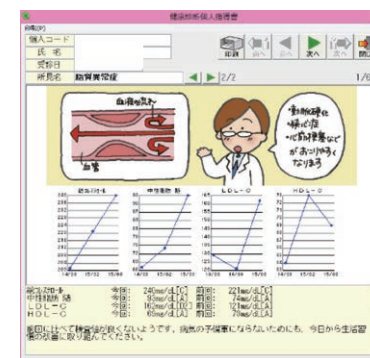
今後もシステム開発を通して、お客様の健康づくりに寄与し、ご満足いただけるようサポートして行きたいと考えています。



◆好評をいただいている「ウェルネスサポートシステム」

当会で独自に設計、開発を行ったアプリケーションプログラム「ウェルネスサポートシステム」では、衛生管理ご担当者のお仕事がより簡単に、迅速に行えるようサポートする機能を提供しており、制度改正などにあわせて定期的にバージョンアップを実施しています。

当会で健康診断、人間ドックを受診いただいた企業は無料でご利用いただくことができ、のべ約300社に導入いただいています。



縁の下の力持ち としてのシステムの 運用と保守について

情報システム課
係長 齋藤 正徳



当会の各業務で使用している機器、システム、環境などを安定稼働させることが『運用・保守』業務であり、これらを詳しく説明させていただきたいと思っております。

◆『運用・保守』業務とは、お客様から信頼されるために必要不可欠な仕事です

『運用・保守』業務の主な目的は、以下の3点です。

- ① 医学協会で使用するシステム（パソコン、サーバー、ソフト含め）や環境（ネットワーク含め）を用意します。
- ② そのシステムや環境が故障などで停止または、遅くならないよう監視します。
- ③ もし異変があった際は、すぐに対応します。

◆医学協会の各施設のシステムが 停まらないように監視するのは重要な仕事です

現在、当会には、健診・ドック施設および病院・老人保健施設を合わせ、サーバーが50台以上、事務用パソコンや検査装置端末用パソコンなどは、1,300台以上が稼働しています。

また、この機器上では、大小100を超えるシステム（基幹システムやメールシステム、ファイル共有システムなど）が動作しています。

万が一、この機器やシステム、施設内のネットワーク環境などが停止または、動作が遅くなってしまうと、お客様に多大なご迷惑をお掛けすることになりますので、安定した動作のため、常に監視を行っています。

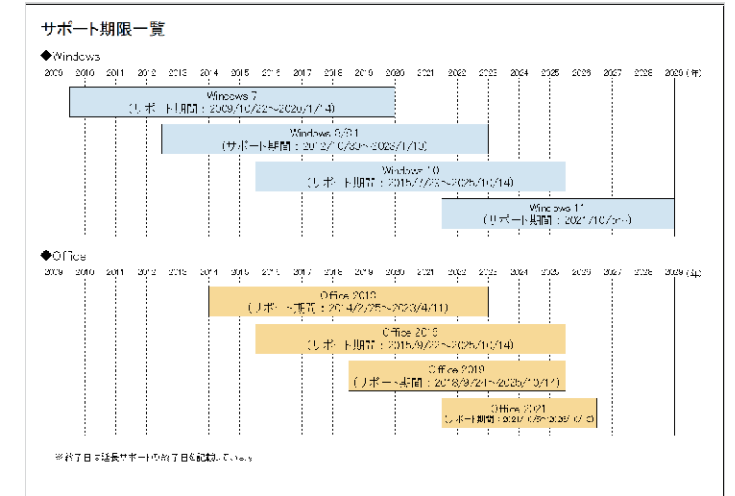
◆セキュリティ上のリスクを避ける サポート期限には十分な注意を払っています

パソコンは、故障しなくても安心して使用が出来なくなるという期限があります。このことは、パソコン内のソフトにはサポート期限という安心して使えるサービスの期間があり、たとえば、基本ソフトであるオペレーティングシステムや事務ソフトなどです。

下の図は、代表的な『Windows』と『Office』ソフトのサポート期限一覧表です。

この期限を過ぎてパソコンを使用すると、ウイルス感染や個人情報流出などの、セキュリティ上のリスクが非常に高まります。そのため、運用保守とセキュリティの番人たるシステム課としては絶対に見逃ごせません。

今年はちょうどそのサポート期間が終了する節目であり、該当する数百台のパソコンの入れ替えを、現在行っているところです。



◆進歩するコンピュータの効率的活用のため 日々、勉強に努めスキルアップを図っています

いくら万全を期して故障を未然に防いでも、日に何件かはヘルプの連絡が届きます。その際は急いで修理に駆けつけ（同じ建物内の場合）、復旧作業を行いつつ、ついでに日頃の運動不足解消にも繋げています。（遠方の場合、遠隔操作ソフトを利用し、作業します）

しかし、修理に関しては機器やシステムの種類、環境やサービスなどの違いにより、復旧手順は多岐にわたり、すべてに対応するには膨大な知識と技術が必要となります。

また、コンピュータの業界は常に進歩しており、絶えず新たな機器や技術、サービスが開発されています。それらを効率的に活用していくためにも、システム課では、日々、知識の収集やスキルアップを図っています。

◆お客様の信頼を損なわないことが大事です

当会のシステムや環境について、動作の安定性を保ちつつ、故障なく快適に使用できるようサポートし、職員の業務を陰ながら支えていくことが私たちの仕事であり、ひいては、このことが健康診断を受診されるすべてのお客様にご迷惑をお掛けしないということにつながり、お客様から信頼され、ご満足いただける結果になると考えています。